

前後期に分けて展覧会を開催

「ポーラ ミュージアム アネックス展2017」

若手アーティストによるグループ展 3月3日(金)より



ポーラ ミュージアム アネックス(中央区銀座1丁目)では、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2017」を2017年3月3日(金)から4月23日(日)まで、前後期に分けて開催します。

本展では過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表をきっかけに、今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から開始致しました。今回も昨年に引き続きポーラ美術館 木島俊介館長 監修のもと、前期は「感受と創発」、後期を「繊細と躍動」というテーマにて、合計8名の若手アーティストの作品をご紹介します。若手芸術家の在外研修に対する助成とは、公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで、35歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し、日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。

|| 展覧会概要 ||

【前期】展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2017 - 感受と創発 -
会 期：2017年3月3日(金) - 3月26日(日)【24日間】*会期中無休
参加アーティスト：高木彩・池田光弘・武田裕子・彦坂敏昭

【後期】展覧会名：ポーラ ミュージアム アネックス展 2017 - 繊細と躍動 -
会 期：2017年3月31日(金) - 4月23日(日)【23日間】*4月17日(月)休館
参加アーティスト：鈴木ヒラク・中原一樹・秋吉風人・藤原絵里佳

【前後期共通】

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)
主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団
協 力：シャンパーニュ ポメリー
開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)
入 場 料：無料

左：(前期作家) 武田裕子「花風の窓」2016年 銀箔 金箔 植物染料 岩絵具 墨 膠 / 楮紙

右：(後期作家) 鈴木ヒラク「Constellation 2」2016年 シルバーインク・墨汁 / ファブリアーノ紙

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

Ⅱ 監修者プロフィール Ⅱ

木島 俊介：ポーラ美術館館長。1939年鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部卒業、美学・美術史専攻。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。群馬県立近代美術館館長および群馬県立館林美術館館長、共立女子大学教授等を務め、現在、同大学名誉教授、東急文化村ザ・ミュージアム プロデューサー。主要著書は、『美しき時祷書の世界』（中央公論社）、『アメリカ現代美術の25人』（集英社）、『女たちが変えたピカソ』（中公文庫）、『名画が愛した女たち 画家とモデルの物語』（集英社）、『クリムトとウィーン』（六耀社）、翻訳書に、『ヨーロッパの装飾芸術 全3巻』（中央公論新社）など。

Ⅱ 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動概要 Ⅱ

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。主に美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に以下の活動を行っています。

【参考資料：平成28年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	17件	4,849万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	12件	1,686万円
(3)美術に関する国際交流の助成	12件	2,025万円

Ⅱ 作家プロフィール Ⅱ

【前期】

高木彩

Aya TAKAGI

1977年 千葉県生まれ

2002年 女子美術大学大学院美術専攻科修了 福沢一郎賞受賞

2005年 大村文子基金女子美パリ賞受賞 パリ国際芸術都市滞在

2007年-2010年 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研究員(パリ、フランス)

2011年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(パリ、フランス)

2012年・2015年 公益財団法人野村財団芸術文化助成(パリ、フランス)

【主な展覧会】

2004年 個展「新人選抜レスポワール展」銀座スルガ台画廊(東京)

2005年「翔の会展」銀座井上画廊(東京)

2007年「第26回 損保ジャパン美術財団 選抜奨励展」損保ジャパン東郷青児美術館(東京)

2010年 第八回 前田寛治大賞展 日本橋タカシマヤ(東京)、倉吉博物館(鳥取)

「パリで暮らす、つくる展 一創立110周年記念展 女子美パリ賞+α」女子美アートミュージアム(神奈川)

2011年「体・顔・動き」展 Galerie Minelli(ベネチア、イタリア)

2012年 個展「Élan 跳躍」展 Galerie Saint-Germain パリデカルト大学(パリ、フランス)

2013年 個展「Élan 跳躍」展 Villa Finaly(フィレンツェ、イタリア)

2015年 テイラー財団(パリ、フランス)

個展「動く女」展 Galerie Saint-Germain パリデカルト大学(パリ、フランス)

URL: <http://www.ayatakagi.com/>



「L'utopie ou la mort 『ユートピアか死か』」

2015年 油彩 / キャンバス

池田 光弘

Mitsuhiro IKEDA

1978年 北海道生まれ

2004年 武蔵野美術大学油絵学科卒業

2006年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了
第21回ホルベイン・スカラシップ奨学生

2013年 ポーラ美術振興財団在外研修員(ベルリン)

【主な展覧会・受賞】

2005年 「新・公募展」 広島市現代美術館(広島) 優秀賞受賞

2007年 「VOCA 展 2007」 上野の森美術館 (東京) VOCA 奨励賞受賞
個展「宙を繋ぐ」 シュウゴアーツ(東京)

2008-09年 「ネオテニー・ジャパニー高橋コレクション」 鹿児島県霧島アートの森(鹿児島)他

2009年 個展「漂う濃度」 シュウゴアーツ(東京)

2010年 「絵画の庭 ゼロ年代日本の地平から」 国立国際美術館(大阪)

2011年 「Pathos and Small Narratives: Japanese Contemporary Art」 Gana Art Center(ソウル、韓国)

「Art in an Office」 一印象派・近代日本画から現代絵画まで」 豊田市美術館(愛知)

「現代絵画の展望 24 の時の瞳 (前期:あの頃、後期:この頃)」 東京ステーションギャラリー(東京)

2012年 個展「location/dislocation」 シュウゴアーツ(東京)

2015年 個展「Portrait of place」 Soka Art Center (台北,台湾)

「Wabi Sabi Shima」 Thalie Art Foundation (ブリュッセル,ベルギー)

「open space」 Satoko Oe Contemporary (東京)

URL: <http://www.mitsuhiro-ikeda.com/>



「Portrait of Place - Belgium no.6」

2016年 油彩 / キャンバス

武田裕子

Hiroko TAKEDA

1983年 東京都生まれ

2012年 東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復日本画博士後期課程修了
野村美術賞受賞

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(中国)

2014年 中国美术学院中国画系花鳥画高級進修生修了

2015年-現在 東京藝術大学大学院

文化財保存学保存修復日本画研究室 教育研究助手

【主な展示】

2011-2012年 個展／アートスペース羅針盤(東京)

2012年 「Young Art Taipei」 シェラトン・グランデ台北ホテル (晴山藝術中心) (台湾)

「三菱商事アートゲートプログラム奨学生美術展」 表参道 GYRE(東京)

公益財団法人芳泉文化財団「美しさの新機軸～日本画 過去から未来へ～」

東京藝術大学陳列館(東京)

2013年 「日本画の様々な表現展」 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA(横浜)

2014年 「覚の会-現代作家によるそれぞれの古典-」 東京都美術館(東京)

「中国美术学院卒業創作展」 中国美术学院幡天寿記念館(杭州、中国)

「四海芸同一国際教育学院留学生双年品展一」 中国美术学院大学美術館(杭州、中国)



「葡萄図」

2014年 墨 岩絵具 膠 / 画仙紙

2015年 個展「日と月の庭」靖山画廊(東京)
2016年「Seed 山種美術館日本画アワード」入選／山種美術館(東京)
個展「日と月の庭」仙台三越美術画廊(仙台)
URL: <http://www.takedahiroko.jp/>

彦坂敏昭

Toshiaki HICOSAKA

1983年 愛知県生まれ
2015年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(イギリス、アイスランド)

【主な展覧会】

2008年「MOT アニュアル2008 解きほぐすとき」東京都現代美術館
2008年 個展「ARCO Solo Project」IFEMA(マドリード、スペイン)
2008年 個展「テサグリの図画」資生堂ギャラリー(東京)
2009年 個展「ARKO2009 彦坂敏昭展」大原美術館(岡山)
2009年「Rain Meet the Sun」M.K. Ciurlionis National Art Museum(リトアニア、カウナス)
2009年「Twenty.」Dazed and Confused(イギリス、ロンドン)
2011年「TRANS COMPLEX - 情報技術時代の絵画」京都芸術センター、AISHO MIURA ARTS(東京)
2012年「現代絵画のいま」兵庫県立美術館
2013年 個展「目地」AISHO MIURA ARTS(東京)
2013年 個展「目地：インタフェイス、アブストラクト」サンセイドウギャラリー(兵庫)
2014年「egØ - 「主体」を問い直す-」punto(京都)
2014年「藪の中」ギャラリー・オーブ(京都)
2016年 個展「Touching / Touched by」AISHONANZUKA(香港)
URL: <http://hicosaka.com>



「Photo_Kyoto」
2014年 C プリント

【後期】

鈴木ヒラク

Hiraku SUZUKI

1978年 宮城県生まれ
2001年 武蔵野美術大学映像学科卒業
2008年 東京芸術大学大学院美術研究科修了
2011年 財団法人東京都歴史文化財団の助成により
ロンドン芸術大学チェルシー校に滞在(イギリス)
2011年 アジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC)フェロースhip(アメリカ)
2012年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(ドイツ)
2017年 The international FID Prize drawing contest グランプリ受賞

【主な展覧会】

2010年 個展「GENGA and Recent Drawings」Galerie du Jour Agnes b.(パリ、フランス)
「六本木クロッシング2010展:芸術は可能か?」森美術館(東京)
2011年 個展「Glyphs of the Light」WIMBLEDON space(ロンドン、イギリス)
2012年「ソリエリュミエール、そして叡智」金沢21世紀美術館(石川)



「circuit 7」
2015年 シルバーインク / アルシュ紙

2013年 個展「Excavated Reverberations」 Daiwa Foundation (ロンドン、イギリス)
「NISSAN ART AWARD 2013」 BankART Studio NYK (神奈川)
2014年 「バンクーバービエンナーレ」 (カナダ)
2015年 個展「かなたの記号」 国際芸術センター青森 (青森)
「TRAITS d'esprit」 Galerie du Jour Agnes b. (パリ、フランス)
「THINK TANK Lab Triennale」 ヴロツワフ建築美術館 (ポーランド)
「COSMOS/INTIME」 パリ日本文化会館 (フランス)
「5x3」 クンストラウムデュッセルドルフ (ドイツ)
2016年 「Very Addictive」 銀川現代美術館 (中国)
URL: <http://hirakusuzuki.com/>

中原一樹

Kazuki NAKAHARA

1980年 香川県生まれ
2004年 ウィーン大学美術史学部留学
2005年 横浜市立大学商学部経済学科国際社会コース卒業
2010年 ベルリン・ヴァイセンゼー芸術大学絵画科卒業
2011年 ベルリン・ヴァイセンゼー芸術大学絵画科 マイスターシューラー修了
2011年 マルト・スタム賞受賞
2011年 公益財団法人野村財団芸術文化助成(フランス)
2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(イギリス)



「無題」
2016年 色鉛筆 / 紙

【主な展覧会】

2008年 「SEN-現代書とドローイング」 Gallery Parterre(ベルリン)
2009年 個展「Drawing on Paper」 Gallery Inga Kondeyne(ベルリン)
2010年 個展「Printing as an event 2」 ライプツィヒ芸術協会 (ドイツ)
2010年 「木と銅」 ベルリン日独センター
2011年 「Drawing-線を描く営為」 island MEDIUM (東京)
2012年 「PRESUME, マルト・スタム賞 2012」 クンストラウム・ベタニエン(ベルリン)
2013年 「Reactive! Art in Public」 壁画 (スイス、ツーク)
2014年 個展「Travelling Light」 Centre for recent Drawing London(イギリス)
2015年 個展「Drawing 」 Gallery Inga Kondeyne(ベルリン)
2015年 「THINK TANK Lab Triennale」 ヴロツワフ建築美術館 (ポーランド)
2016年 「Drawing Performance」 Tug Boat Gallery, Lincoln (アメリカ、ネブラスカ)
URL: <http://www.kazukinakahara.com>

秋吉風人

Futo AKIYOSHI

1977年 大阪府生まれ

2001年 名古屋芸術大学美術学部絵画科洋画コース卒業

2003年 名古屋芸術大学大学院美術研究科同時代表現研究修了

2010年 公益財団法人吉野石膏美術振興財団在外研修員（ドイツ）

2011年 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研修員（ドイツ）

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ドイツ）

【主な展覧会】

2010年 「あいちトリエンナーレ 2010」 愛知県美術館（名古屋）

「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」 国立国際美術館（大阪）

2011年 個展「こんなにも贅沢な沈黙」 TARO NASU（東京）

2012年 「THE ECHO」 KunstraumKreuzberg/Bethanien（ベルリン）

2013年 個展「A FAITHFUL ANTINOMY」 Longhouse Projects（ニューヨーク）

「Do not touch!」（常設特別展） 豊田市美術館（愛知）

2014年 「Temporal Measures」 White Rainbow（ロンドン）

「VOCA展 2014」 上野の森美術館（東京）

2015年 個展「Adherence」 SEXAUER（ベルリン）

2016年 個展「something too much」 TARO NASU（東京）

個展「if nothing else」 NON Berlin（ベルリン）

URL: <http://www.futoakiyoshi.com>



「naked relations」

2014年 アクリル / キャンバス

©Futo Akiyoshi Courtesy of TARO NASU

藤原絵里佳

Erika FUJIWARA

1984年 愛媛県生まれ

2006年 愛媛大学教育学部芸術文化課程造形芸術コース卒業

2008年 金沢美術工芸大学大学院工芸科陶磁専攻修了

2010年 金沢卯辰山工芸工房修了

2013年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（ラオス）

【主な展覧会・受賞】

2008年 第46回 朝日陶芸展

2009年 個展[ceramic works of Erika Fujiwara] ギャラリー一点(石川)

2010年 第66回 金沢市工芸展(石川)

[第1回 金沢世界工芸トリエンナーレ] 金沢 21世紀美術館(石川)

2012年 [美の予感-2012] 高島屋美術館画廊（巡回）

2013年 個展[HOKAI(ほかい)] M gallery（ラオス）

2015年 「BKK-the 3rd international contemporary ceramic art project」 Khon Kaen University（タイ）

URL: www.erikafujiwara.com



「HOKAI (ほかい)」

2014年 陶土